



# Orbsエコシステム 助成金プログラム

## 第2期受付開始

### 概要

Orbsプロジェクトは、コミュニティとともに、パブリックでパーミッションレスなエコシステムを構築しています。Orbsはオープンソース・プロジェクトとして誕生し、オープンソース・コラボレーションの計り知れない可能性を強く信じています。そして他のプロジェクトとも積極的に協力していきたいと考えています。

2019年3月のOrbsネットワークのローンチ以降、プロジェクトはいくつかの大きなマイルストーンを達成することができました。昨年は無事に、「Orbs V2.5: The Age of Guardians-ガーディアン時代」の開発とローンチができました。その後、Orbsチームは、Orbsネットワークが世界のDeFiプロジェクトの役に立ち、相互接続できる環境を整備し、可能性を一掃して探求してくれるチームに向けて、Orbsエコシステム助成金プログラム (OEGP) を立ち上げました。

第1期助成金プログラムの募集では、DeFiインフラストラクチャに焦点が当てられました。最初の助成金獲得者のParadigmチームは、様々なDeFiプラットフォーム上にORBSトークンの流動性プールを作り、OrbsがDeFiに接続する重要な一歩となりました。

さらにその後、DeFiエコシステムとの統合が進み、Orbsエコシステムが大きく拡大しました。OrbsエコシステムはEthereumだけでなく、Binance Smart ChainやPolygonブロックチェーンとも統合し、Uniswap、SushiSwap、Balancer、PancakeSwap、AnySwap、Kyber Networks、1inch、Alpaca Finance、Beefy FinanceなどのたくさんのDeFiプラットフォーム上でもORBSトークンの取り扱いがされるようになりました。

Orbsプロジェクトは、OEGPの下で新たな助成金の募集を開始します。今回の募集では、Orbsエコバースの上で動くアプリケーションを対象とします。Orbsエコバースは、Orbsプロトコルのインセンティブ・レイヤーで、ORBSトークンを支えるガーディアンとデリゲータで成り立っています。

**21**  
Nodes / Guardians  
Orbs nodes and active guardians

**3**  
chains  
ethereum BINANCE SMART CHAIN polygon

**17**  
DeFi Protocols integrations

**>\$200M**  
Total Value Locked (USD)

### Orbsエコシステム

Orbsプラットフォームは、開発者がバックエンド・サービス (アプリケーション) を構築し、それをOrbsガーディアン (ネットワーク・バリデータ) が実行することでデPLOYされる分散型サーバーレス・クラウドです。ガーディアンは、OrbsのProof-of-Stakeを用いて、パブリックなパーミッションレス・プールから選択され、誰もが参加できる公正な分散型エコシステムを約束します。本プラットフォームでは、コンセンサスに基づく分散型コンピューティング (スマートコントラクトの実行) を主なサービスとして提供しています。今回の募集では、Orbsの分散型ノード・ネットワークと、Orbsが選出したバリデータを活用して競争力があるアプリケーションの提案をお待ちしています。

Orbsのエコシステムは、ORBSトークンを使用しています。まず第1に、ORBSトークンはOrbsのProof-of-Stakeのインセンティブを強化し、ネットワークのセキュリティ維持に貢献しています。ORBSトークンを委任することで、Orbsエコシステムのすべての参加者は、Orbsプロトコルに寄与する適正なガーディアンを選出し、ビザンチン將軍問題を回避することができます。第2に、ORBSトークンは、Orbsガーディアンが提供するインフラサービス (アプリケーションの実行など) の主な料金支払い手段として使用されます。今回の募集では、ORBSトークンを活用し、健全で持続可能なネットワークのトークノミクス (トークン・エコノミー) に貢献する提案をお待ちしています。

<b>Exchanges</b> BITTREX, bithumb, UPbit, Bibox, OKEX, coinone, Bilaxy, LATOKEN, PROBIT, FTX, KuCoin, gateio, INDOORX, P2P, b2b, CONSBIT, BHEX, bit, bns, ZT Global	<b>Wallets</b> TETRA, METAMASK, Ledger, coinbase, Trust Wallet, Blockfolio, MyEtherWallet, ENJIN, status, krystal, TOKEN POCKET, DeFi, Balancer, Anyswap, Defi.org, benchmark protocol, UNISWAP, PancakeSwap, BINANCE SMART CHAIN, SushiSwap, kyber network, linch, Alpaca Finance, WOW, Beefy.finance	<b>Transparency and Data</b> Xangle, MESSARI, flpsidecrypto, COINCHECK, Blockfolio, Staking Rewards, ENS, TokenInsight, CoinMarketCap, the graph, Social Impact, HEXA GROUP, THE YOZMA GROUP, Media, InboundJunction, Staking, PH CAPITAL, 21M Capital, Citadel one, WINGS, BitGo, celsius, Staked, MOONSTAKE, bithumb	<b>Cloud Dev, Environment</b> AWS, Azure, Google Cloud, Explorers, PRISM, TOKENVIEW, Etherscan, BscScan, Oracles, Chainlink, COMING SOON
<b>Partnerships</b> GBBC Global Blockchain Business Council, WORLD ECONOMIC FORUM, .cbn, THE WORLD BANK, YES24.COM, SAMSUNG Blockchain			

Orbsプロジェクトは、独自のハイブリッド・アーキテクチャにより、主にEthereum mainnet、Binance Smart Chain、PolygonなどのEVM (Ethereum Virtual Machine、イーサリアム仮想マシン) 互換のブロックチェーンとの相互運用性を考慮して設計されています。EVM互換のエコシステムは、特にDeFiやNFTの分野において、資産の流動性やユーザーの関与の面で最も利用されています。Orbs Proof-of-StakeはEVMコントラクトのセットとして実装されており、ORBSはERC20トークンであるため、EVMチェーンとOrbsエコシステムの間でシームレスな統合が可能です。今回の募集では、このシームレスなインターフェースを活用し、人気のあるEVMチェーンでORBSの流動性が高くなるような提案をお待ちしております。

### 主要なKPIとしてのトラクション

私たちは、トラクションに関連する3つの重要業績評価指標 (KPI) によって測定される、エコシステムの成長に貢献する提案を求めています。1つ目は、エンドユーザーが実行したトラクションやAPIコールの量などのユーザー・アクティビティです。2つ目は、業界をリードするプラットフォームや人気プロジェクトとの統合数です。3つ目は、Orbsのエコシステム・プロダクトに関わるTotal Value Locked (TVL=預かり資産) です。これら3つのKPIのいずれかを通じて、エコシステムの成長に貢献する提案を求めています。

私たちの身近で見られる、分散型アプリケーションの最も成功した事業と言えば、DeFi (Decentralized Finance) とNFT (Non-Fungible Tokens) の2つです。近年、この2つの分野は、分散化の観点から最も成熟しており、たくさんの動きが出てきています。今回の募集では、これらの分野での提案や、これらの分野のアプリケーションをサポートするインフラを構築する提案を求めています。

### 助成金の募集分野について

以下のリストは、Orbsのエコシステムにおいてイノベーションの機会があると思われる分野の例です。私たちの興味関心分野をご理解いただくための参考にしていただければと思います。これらの分野に共通しているのは、Orbsネットワークが独自の競争力を持ち、それを上記のKPIの達成に向けて活用できると考えられる点です。

<b>データインテックスと分析インフラ</b> DeFiは、すべてのデータが透明性を持って利用できるという点で、従来の金融とは異なり、透明性と監査可能性は、ブロックチェーン技術の主要な価値であり、実際にすべての参加者がブロックチェーン台帳全体と、その上に構築されたすべての分散型アプリケーション (スマートコントラクト) の活動全体にアクセスし、監査することができます。主な課題は、膨大なデータ量をリアルタイムで分析し、意思決定を行うが非常に難しいことです。このような豊富なデータ量は、金融商品の仕組みそのものを変えるきっかけになります。なぜなら、このデータを収集して利用することが、大きな競争力になるからです。つまり、オンチェーン・データを分析し、そこからビジネス・インテリジェンスを抽出する能力が強く求められているのです。	<b>通知および監視インフラ</b> DeFiとNFTは、価値ある資産に直接触れる二つの分野であるため、様々な条件下で、参加者は状況の変化に合わせてポジションを調整しなければ、金銭的な損失を被るリスクがあります。このような状況にリアルタイムに対応できることが技術的な優位性となります。その一例が、分散型レンディング・プラットフォームにおける流動化です。ユーザーが担保付き融資を受けた場合、担保の価値を常に監視し、市場価格が変動した場合に自動的に融資を調整しなければなりません。
<b>ブリッジングおよびクロス・プロトコル・インフラ</b> ブロックチェーン全般、特にDeFiとNFTでは、誰でも新しいプロトコルを作ることができます。この包含性は、あらゆる問題に対する様々な代替案を豊富に生み出しますが、相互運用性を困難にします。ユーザーが資産をプロトコル間でシームレスに移動できるようにするには、ビジネス上のメリットがあります。	<b>アルゴ・トレーディング技術とインフラ</b> DeFiにおける価値創造は、主に資産運用によるものです。例えば、資金に余裕のあるユーザーは、その手持ち資金を様々なプロトコルに掛け、これらのプラットフォームに参加することで、利回りを得ることができます。DeFiのプラットフォームはすべてスマート・コントラクト (ブロックチェーン上で動作するコード) として実装されているため、このコードと統合することで、常にポジションの管理や最適化が行われます。
<b>EVMコントラクト機能の強化</b> Ethereum Virtual Machine (イーサリアム仮想マシン) は強力なセキュリティ保証を提供しますが、その計算能力は非常に限られています。EVMのオPCODEは、チェーン上で利用可能な小さなサブセットへのアクセスを提供します。例えば、コントラクトや過去の状態から過去の取引を照会する方法はありません。また、EVMは特定のチェーンで利用可能なデータに限定されており、これはオラクル問題として知られています。さらに、EVMのコントラクトはガスを消費し、計算能力や利用可能なストレージが限られています。EVMコントラクトにオラクル・ベースのAPIを提供することで、これらの機能を強化することができ、ポルトでのよりスマートなDeFi戦略など、複数のユースケースに対応することができます。	<b>コンシューマ・ダッシュボードとカリキュレーター</b> DeFiLangは、複雑なDeFiデータを誰でも簡単に理解できるようデザインされた、利用者向けのポータル・サイトです。この情報は、DeFiを注意深くフォローしている個人や組織によって利用され、事業者が興味深いトレンドを分析したり、新たに登場するプロトコルを発見するのに役立ちます。
<b>リテール向けDeFiおよびNFTアプリケーション</b> Orbsは、主にアプリケーションに対応するインフラストラクチャ・レイヤーであり、Orbsのインフラストラクチャ・プロダクトのほとんどは、これらのアプリケーションの開発者に向けられています。エンドユーザーとのエンゲージメントは、プロダクト主導型のアプリケーションになります。Orbsは、Orbsネットワークを利用するアプリケーションが増えることを望んでいます。例えば、Orbsのインフラストラクチャを利用した新しいNFTゲームの開発などがその好例です。	<b>既存のOrbsアプリケーションの新規プロジェクトへの統合</b> Orbs DeFi 通知のような分散型のOrbsアプリは、AaveやSushiなどのEVMチェーンの複数のDeFiプロジェクトに対応しています。通知を動作させるためには、開発中のソフトウェアに通知プロトコルを実装する必要があります。人気のあるプロジェクトに実装されることで、Orbsのエコシステムに価値をもたらす、既存の製品をより多くの潜在的なユーザーに提供することができます。

これらの分野や例はすべてを網羅しているわけではありませんので、上記以外のプロジェクトのアイデアがあればぜひお聞かせください。

### 提案内容について

良いアイデアをお持ちの方は、ご自身のプロジェクトに関する以下詳細情報を添えて、提案書をご提出ください。

<b>提案サマリー:</b> 提案内容の詳細説明、取り扱う課題、範囲、方法、スケジュール、Orbsエコシステムへの価値など。	<b>申請者情報:</b> 所在地、法人名、事業概要、住所、連絡先など。	<b>コアチーム情報:</b> チームメンバーの役割、所属、役職、メールアドレス、居住国、税務、プロフィール (LinkedIn、Githubなど)。	<b>課題定義:</b> 提案によって対応される一般的な課題、動機、Orbsのエコシステムや技術との関連性。
<b>ソリューション概要:</b> ソリューションの目標と範囲、技術的アプローチの小さなアイデアとメカニズム、将来的なビジョン。	<b>開発計画:</b> 目標を達成するために必要なタスク、複雑なタスクの優先順位、各タスクを担当するチームメンバーの特定、マイルストーン、評価基準、各タスクを完了するためのスケジュール。	<b>予算と資金計画:</b> 設備やリソース、運営費、チーム報酬、交通費、その他の経費を含む予算詳細。	<b>報告義務について:</b> 進捗状況や助成金の使用に関するレポートなどを、どのように報告するかについて示してください。

提案書宛先: [grants@orbs.com](mailto:grants@orbs.com)

### 選考基準

すべての基準は審査結果を決める重要な指標ではあるものの、特定の結果を保証するものではありません。

- 選考基準:
1. プロジェクトはOrbsエコシステムや参加者にとってどのような価値があるか?
  2. プロジェクトは、既存のロードマップではカバーされていない新たな機会をOrbsにもたらしているか?
  3. プロジェクトがエコシステムの中で支持され、ユーザーがつく可能性はどの程度か?
  4. プロジェクトはどれだけ革新的か? 他と違うことをしているか?
  5. プロジェクトは、今日あるクリプト・エコシステムがもたらした新しい可能性を十分理解し活用しているか?
  6. 助成金は、提案されたプロジェクトに大きな影響を与えるか?
  7. 達成すべきタスクに対して、資金のレベルは適切か?
  8. 助成金を受け取る人物 (またはグループ) には、実績があるか。彼らはすでにOrbsエコシステムで活躍しているか?

### 評価プロセス

提案書の受付後、Orbsチームは以下のプロセスを行います。

基本的な要件を満たしているかどうかの初期審査プロセス。

OEGP 助成金委員会による、プロジェクトの詳細な審査プロセス。このプロセスには、チームのインタビューやビデオの機会、書類提出の要請、OEGP 助成金委員会と適切と見なすその他の審査要素が含まれます。またOEGP 助成金委員会には、申請者と協力して提案書を修正することもあります。

最終決定は、OEGP 助成金委員会による十分な審査プロセスを完了した時点で通知されます。

承認された申請者は、助成金の最終決定前に、Orbsと協力して必要な契約を締結します。

OEGP 助成金委員会は、独自の裁量により、必要と思われる場合には、このプロセスを変更する場合があります。例えば、プロジェクトがOrbsエコシステムにとって非常に重要である場合、OEGP助成金委員会は申請プロセスを迅速に進めることができます。

### 助成金の交付について

助成金は複数回に分けて、フィアットや、BTCやETHなどの暗号通貨、またはORBSトークンでの交付のいずれかで行われます。分割交付のスケジュールは、助成金承認時に、マイルストーンを立入設定されます。OEGP助成金委員会は追加交付に先立って、助成金受給者からのマイルストーン・レポート受け取り、内容を審査します。Orbsは、マイルストーンが達成できなかったプロジェクトに対して追加交付することはできません。

免責事項  
本ページは、OEGPに参加するための一般的な枠組案を説明するものであり、Orbs Ltd.が、一般的に、または特定の個人や団体に対して、助成金を提供することを約束したり、義務を負ったりするものではありません。Orbsは、独自の裁量により、助成金を支給するか否かを決定し、実際の支給額を決定する権利を有します。Orbsは、理由の如何を問わず、OEGPおよびその条件を中止、変更または中断する権利を有します。助成金の交付は、OEGPの諸条件 (こちらをご参照ください)

[<https://www.orbs.com/terms-and-conditions>] に同意することを条件とし、および/またはOrbs Ltdが提供する形式による、助成金に関する書状の締結を条件とします。